

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市泉ひまわりの家	
2 指定管理者	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和4年度 4,421人(前年度比 95.5%) 令和3年度 4,627人(前年度比 106.8%) 令和2年度 4,331人(前年度比 97.2%)	
	《事業》 主として知的障害者が通所し、日常生活に必要な支援を行うことで、福祉の増進を図る。	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 74,792千円 (65,739千円) ・ その他市が負担した費用 12,404千円 (1,093千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 72,914千円 (68,453千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 令和5年1月に仙台市の利用者アンケートを、同年2月に施設独自の利用者アンケートを実施したほか、施設外部の委員を含む施設運営委員会を開催した(2回)。また、保護者会への参加を行った(4回)。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	条例で定める設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解し、利用者支援に従事している。 また、利用者の障害特性を十分に把握したうえで配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。 他の施設や関係機関との連携も適切に図られている。	42/42
II 施設の運営管理体制	法に定められた職員数が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。 また、個人情報の取扱いについては、管理責任者を定めるとともに、職員研修を行い、意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備えた体制も整えられ、事故防止策の研修も適切に実施している。	24/24
III 施設・設備の維持管理	老朽化が進んでいる施設ではあるが、利用者の安全を確保し、安心して利用してもらえるよう、施設の保守点検や清掃を丁寧に行い、清潔に保たれている。 また、感染症対策で小まめな手洗いや換気しながら、節電・節水などの省エネ対策も継続して施設運営にあたっている。	24/24
IV サービスの質の向上	職員の資質向上や意識高揚のため、研修会への参加に適切に取り組んでいる。 また、支援の充実のため他の障害者施設等も含めた施設運営委員会を継続して実施する等、施設の現況説明や情報交換を行い、施設運営上の課題を把握するなど、利用者等の意見を反映した施設運営に努めている。 利用者の支援に支障があるため、職員は名札を着用していない場面もあるが、掲示による職員紹介を行っている。	28/28
V 施設固有の基準	指定管理施設としての基準を遵守しながら、医療的ケアを必要とする利用者の障害特性の細部までの把握に努め、支援の充実にも努めている。 利用者本位の支援に努めつつ、サービスの質の向上を目的とした取組みも行っている。	8/8

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会福祉協議会）による自己評価》
<p>新型コロナウイルス感染症は、施設の運営に大きな影響を及ぼしたが、利用者一人ひとりの適性に応じた質の高いサービスの提供に努め、社会体験活動等の行事の拡充を行うなど、利用者の満足度の向上を図った。</p> <p>利用者の特性やニーズに応じた意思決定支援を行うとともに、医療的ケアを必要とする利用者の重度化が顕著であることから、医療機関との情報共有を強化し、家族の介護負担の軽減に努めた。身体機能低下予防を目的として、法人内の理学療法士による指導のもと機能訓練を実施した。</p> <p>さらに、社協の職員であることを意識して、地域福祉推進に向けた取組等も継続して行った。人材育成については、個々のスキルアップを目指し、様々な研修や会議を行い、職員の資質向上に努めた。</p> <p>《重点事項まとめ》</p> <p>1 利用者の活動支援 個別支援計画に基づいた利用者の意思決定を尊重し、目標の達成感や心地よさを感じられるよう新たなプログラムの開発・実践を行い、各々の残存能力の維持向上を図り、日常生活の自立と社会性が身に着けられるよう支援した。</p> <p>2 利用者サービスの向上(家族支援等) ご家族の高齢化により、今後の生活に不安を持つ家族の相談に応じ、利用者と家族が安心して生活を送れるよう、関係機関と連携し支援内容を検討した。</p> <p>3 職員の資質向上 職員の資質およびサービスの質の向上を図る為、法人内外が主催する専門的な研修に参加するとともに、最新の情報収集に努めた。その一つとして、本会が運営する障害者施設合同で「障害者施設虐待防止等研修」を開催した。実施にあたり、当日参加できない職員には後日アーカイブ配信でオンデマンド受講できるようにし、内容の共有促進を図った。</p> <p>4 実習指導・ボランティア・見学の受入れ 新型コロナウイルス感染症の罹患者が減少した為、引き続き地域に開かれた事業所を目指し、市民の知的障害者や事業所に対する理解をより一層促すとともに、障害者に携わる人材の育成に寄与する為、抗原検査や体調確認を行った上で、各種実習生を継続して受入れた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>協定書及び仕様書に従っておおむね適切、良好に行われた。</p> <p>利用者や家族のニーズに応じた支援を行うとともに、医療的ケアを必要とするなどの質の高いサービスに応えられるよう、人材育成に力を入れているほか、看護師等による支援により利用者の個々の状態に合わせたサービス提供が行われている。</p> <p>支援の充実のため他の障害者施設等も含めた施設運営委員会も継続して実施しているほか、感染症対策に留意しながら地域との交流を図り、福祉施設や障害のある方への理解促進に努めるなど、総合的には高く評価できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):健康福祉局障害福祉部障害者支援課